

Elazzio

SEAT COVER



MITSUBISHI
EK WAGON
EK CUSTOM
NISSAN
DAYZ

専用シートカバー取付説明書

Glazzio

SEAT COVER

このたびは「Glazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

…> 03-04

シートカバー装着前の注意事項

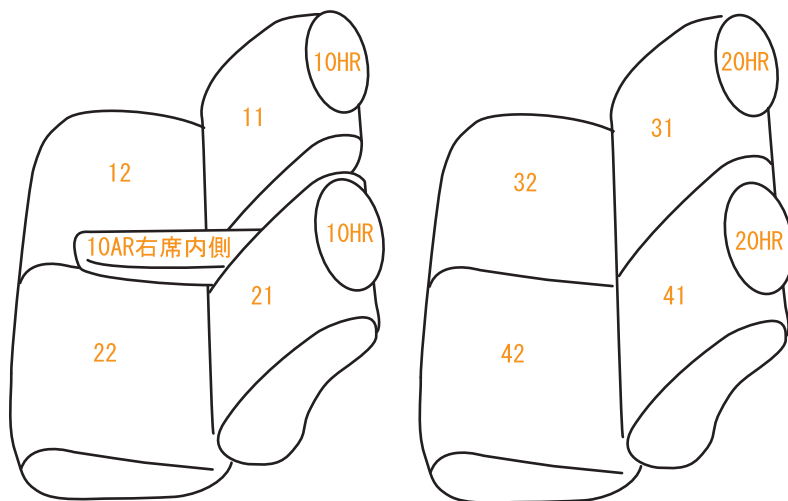
…> 05-24

シートカバーの装着方法

…> 25-26

アフターサービスと生地別メンテナンス方法

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチセット(この車種ではソケット14mmを使用します)
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用 ヘラ (付属)

この車種では上記の工具を使用します

シートカバー 装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せず）にして、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関しての注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところに放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革バンチングタイプ・ECTクラツィオ・アルカンターラセクション)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましては一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目運転席座面の装着方法

カバーを装着する前に、シート表皮の一部の固定を外します。こちらはカバーを装着後、元には戻しません。しかし一度外したシート表皮を元通りに固定する為には、シート土台のプラスチックカバーを外す必要があります。例：カバーが不要になり元の状態に戻す場合など。その際は巻末のプラスチックカバーの外し方をご覧ください。



- 1 カバーを装着する前に、リクライニングレバーの内側付近にある生地を外します。
※生地を元に戻す際はプラスチックカバーを外す必要があります。プラスチックカバーの外し方は巻末のページをご覧ください。



- 2 こちらはシート土台のプラスチックカバーを外した図です。生地はプラスチックカバーの内部で、ピンで固定されています。
※カバーの取り付け時にプラスチックカバーは外しません。



- 3 リクライニングレバーを上上げると内側にネジがあります。ネジをドライバーを使用して外します。ネジは10ページ33番で元に戻します。



- 4 シートの背面から、シート裏の外側面を見ている図です。生地を固定しているピンがこちらから見えます。ピンを指でつまみ固定している穴から外します。



- 5 ピンの固定が外れたら、更にヘラなどで押し込み、固定している穴から完全に外します。



- 6 プラスチックカバーを手前に引いてシートとの隙間を開けながら、生地を軽く振りながら上へ引き上げます。
無理に引っ張り上げると生地が破れたりする恐れがありますので、作業は慎重に行ってください。



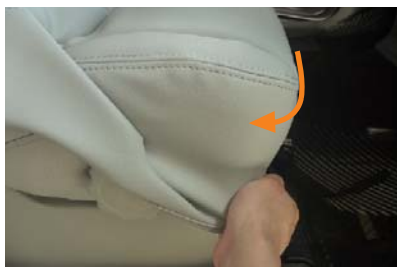
- 7** 生地を完全に外した図です。図はピンが付いた状態ですが、ピンが生地から外れている場合は、シート裏へ落ちていた場合があります。床に落ちていない場合はプラスチックカバーの中で引っかかっているので軽くプラスチックカバーを揺らすとシートの下から出てきます。



- 8** カバーを装着していきます。この際シートはシートリフターで一番高い位置に合わせておきます。図はシート内側面の後ろ側です。シート裏から引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



- 9** シート内側面の前側の角です。生地がしっかり張るように生地を馴染ませながら、シートのラインに合わせてかぶせます。



- 10** シート外側面の角です。こちらでも生地がしっかり張るように生地を馴染ませながら、シートのラインに合わせてかぶせます。



- 11** シートリフターのダイヤル部分にカバーの加工穴の位置があっているかどうかを確認します。穴位置がずれている場合は、カバーがシートからずれていると思われるので、**8番**からのカバーの装着を再度見直して下さい。



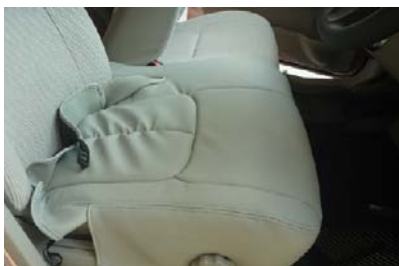
- 12** シートリフターのダイヤルにカバーの加工穴を通します。まず図のようにダイヤルの片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 13** 生地伸びを利用して、シートリフターのダイヤルを加工穴から慎重に取り出します。



- 16** 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



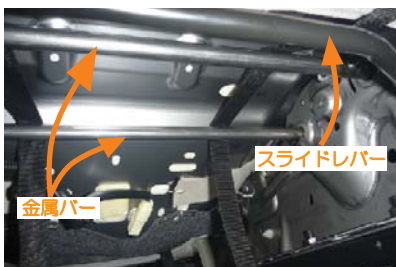
- 14** シート全体にカバーをかぶせて、再度シートのラインからカバーがずれていないか確認して下さい。



- 17** カバーの前側に付いているベルトをシート裏を通して、シート背面へ回します。



- 15** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。この際、一番上まで上げていたシートを、シートリフターで下げると生地が入り込みやすくなります。シートを下げた場合は生地を入れ込んだら元に戻して下さい。



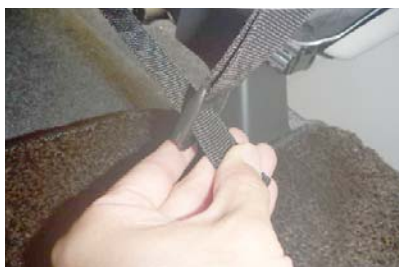
- 18** ベルトはスライドレバー、シート裏の金属バーの上を通してシート背面へ回します。



19 シートの背面からベルトを引き出します。



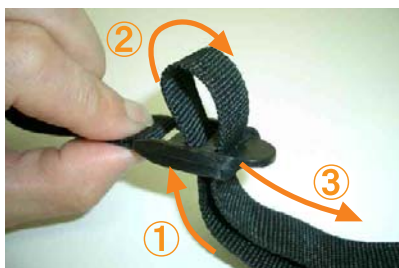
22 シートの背面は図のようになります。



20 ベルトは7ページ16番で引き出した生地に付いているバックルに通して固定します。



23 シートリフターのダイヤルがあるすぐ後ろ側のカバーに、幅の広いゴムが付いています。ゴムをシートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



21 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央を通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞って固定されます。ベルトは強く引きすぎると、縫製糸が切れてベルトが抜けてしまう恐れがありますので、ご注意下さい。



24 入れ込んだゴムをシート裏から引き出して、付属のS字フックを図の様に取り付けます。※図は分かりやすいようにシートの表側で画像を撮っています。



25 S字フックをシート裏の金属部分の溝に引っ掛けて固定します。



28 シートベルトバックルが収まる部分のカバーに、幅の広いゴムが付いています。



26 シートリフターのダイヤル下の隙間に、生地をシートに巻き込むようにしてかぶせます。



29 こちらもシート裏から引き出して、S字フックでシート裏に固定します。



27 リクライニングレバーの先端付近のカバーに付いているゴムを、シートとプラスチック部の隙間に入れ込み、S字フックでシート裏に固定します。



30 シートの付け根に付いているカバーのゴムは(内外両方)、シート裏へ引き出してS字フックでゴム同士を固定します。



- 31** ゴムは合計5か所に付いています。①⑤は幅の広いゴムが付いていて、25番29番の説明位置に固定、②は細いゴムで27番の説明通りシート裏に固定、③④は細いゴムで、30番の説明通り、ゴム同士を固定するようにします。



- 34** シートの内側面は図の様になります。



- 32** カバー外側面の生地を、シートとプラスチック部分の隙間に入れ込みます。



- 35** カバーのラインを整えて、1列目運転席側座面の完成です。



- 33** 5ページ3番で外したネジを、生地を挟み込みながら元に戻します。

Step 2

…> 1列目助手席座面の装着方法



- 1 シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 4 ベルトはトレイを固定しているレールの上を通すようにして下さい。
※ベルトの固定方法：8ページ21番参照



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、シート背面から引き出します。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



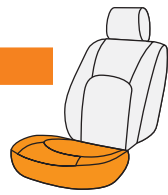
- 5 カバー外側面の生地を、シートとプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。こちらは隙間が大変狭くなっています。図の様に生地を入れ込むへらとは別に、フチを広げる棒のようなものを差し込むなどすると、作業が行いやすくなります。



- 3 シートアンダートレイが装備されている車は、トレイを引き出してカバー前側のベルトをシート裏へ回します。



- 6 外側面は図の様におさまります。



7 リクライニングレバーの前の隙間にも図の様に生地を入れ込みます。



10 9番の断面図です。フックはフチにしっかり挟み込まないとすぐに外れます。フチにはめ込み持ち上げるようにして、深くはめ込んで下さい。



8 シート内側面に下についている生地をめくり上げてカバーの中へ入れ込みます。



11 シートの付け根に付いているゴムは(内外両方)、シート裏へ引き出してS字フックでゴム同士を固定します。



9 カバー内側面に付いている大きなブラックを生地と一緒に折り返して、シートのフチにはめ込み固定します。



12 カバーのラインを整えて、1列目助手席側座面の完成です。

Point

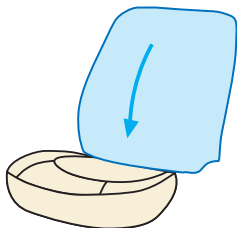


付属のシートカバー 取付補助ビニールの使用方法

背もたれ部分のシートカバーを装着する際、付属のビニールを使用するとシート本体とシートカバーの摩擦を軽減しスムーズに作業ができます。

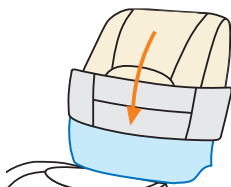
※ベーシックシリーズには取付補助ビニールは付属していません

①



背もたれ部分のシートカバーを装着する前に、付属のビニールを被せます。この際、後で補助ビニールを引っ張り出しやすいように、カッターで両サイドに切り込みを入れておきます。

②



背もたれのシートカバーをシートラインに合わせてながら被せます。

③



シートカバーをしっかりと被せることが出来たら、ビニールを引っ張り取り外します。

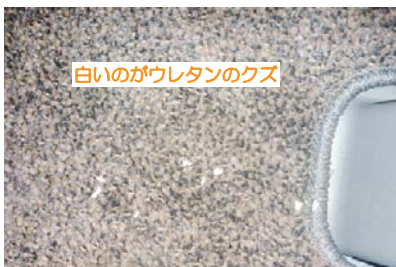


1 運転席側はアームレストを外します。始めに図のブラキャップをへらなどを使用して外します。

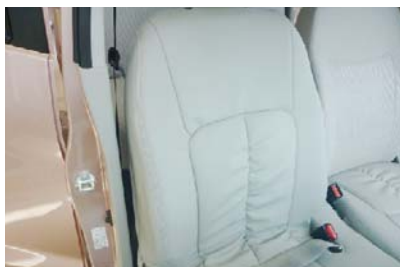
※3番の図にあるようにアームレストを外すと、中のウレタンのクズが出ます。始めにビニールシートを敷くなどの対策して下さい。



2 ラチェットレンチなどを使用して、中のボルトを外します(ソケット14mm)。



3 ボルトを外すとアームレストの中からウレタンのクズが出てきますが、これはボルト周辺のウレタンのクズですので、出てきても仕様上問題はありません。



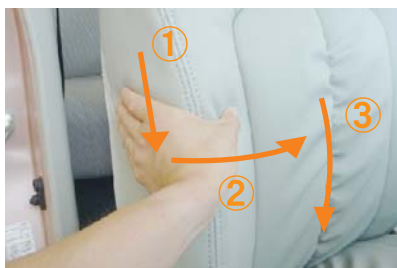
- 4 カバー側面のファスナーを開けた状態にして、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、シート背面から引き出します。



- 5 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 8 カバー側面の生地を、図の①~③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行って下さい。



- 6 生地の伸びを利用して台座を取り出します。



- 9 カバー側面のファスナーを閉じます。ファスナーは生地を内へ寄せながら慎重に閉じて下さい。



折り返してカバーの中へ入れ込みます

- 10** カバーからはみ出したファスナー部分は、折り返してカバーの中へ入れ込みます。



- 13** シートの背面下は図のようになります。

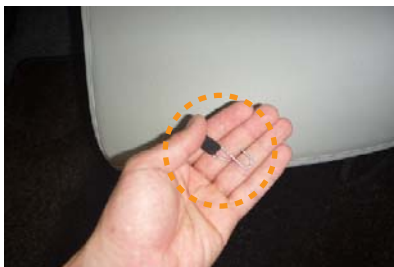


- 11** 14ページ7番で入れ込んだ生地と、カバーの背面をマジックテープで固定します。

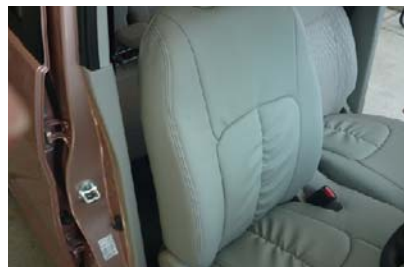


シートの付け根に生地を引っ掛ける

- 14** カバー前側の生地が内へ寄ってシワになっている場合は、生地を外へ引っ張りシワを無くします。シートの付け根部分に生地を引っ掛けるようにすると、生地が内へ寄りません。



- 12** カバー背面下に付いているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。S字フックはシート裏に引っ掛けて固定します。



- 15** カバーのラインを整えて、1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。

Step 4

…> 2列目座面の装着方法



- 1** シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



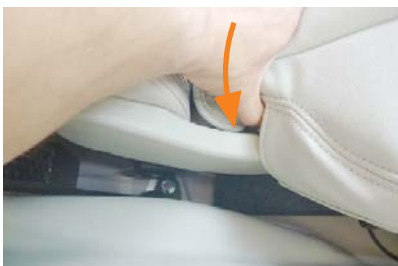
- 4** カバーの両側面からヒモが出ています。内側面から出ているヒモを、シート裏を通してシートの外側へ引き出します。



- 2** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、生地の手端に付いているベルトをシート裏を通してシートの前側に戻します。



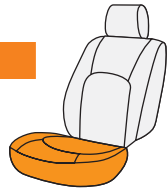
- 5** 片側のヒモで図の様に輪を作ります。



- 3** シート外側面の付け根の隙間に生地を入れ込みます。



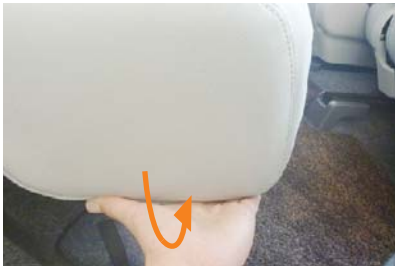
- 6** 作った輪にもう片側のヒモを通します。



7 通したヒモを引き、シートの下周りを引き絞りに結び留めます。



10 カバーには図の矢印位置5か所にゴムが付いています。ゴムはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。S字フックは使用しなくても構いません。③のゴムは幅の広いゴムが付いています。



8 ヒモを絞り込む際に、カバーの下回りはシートの内へ巻き込む様になります。



11 カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。



9 シートの裏から16ページ2番で前側に回したベルトを引き出して、カバー前側のバックルに通して固定します。

Step 5

…> 2列目背もたれの装着方法



- 1** シートの肩口に付いているリクライニングレバーのネジを、ドライバーを使用して外します。



- 4** 始めにネジを外したリクライニングレバーを、レバーのフチに生地を挟み込み固定します。



- 2** カバー側面のファスナーを開けた状態にして、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 5** カバー内側面の生地を内へ寄せながら、ファスナーを慎重に閉じます。



- 3** ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



- 6** カバー側面下のマジックテープの付いた生地を、シートの背面へ引き出して、直接シートに貼り付けて固定します。



7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、シートの背面から引き出します。



10 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。



8 入れ込んだ生地と、カバーの背面をマジックテープで固定します。



9 助手席側の背もたれは、カバー背面の切り込みからシートスライド用のベルトを引き出します。

Step 6

…> ヘッドレストの装着方法



- 1** 1列目ヘッドレストです。カバーを裏返してヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。この際ヘッドレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせて下さい。



- 2** ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3** ヘッドレストをシートから外します。カバーはヘッドレスト裏でブラックで固定します。



- 4** ブラックの固定方法は、カギ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 5** ブラックを固定するとヘッドレスト裏は図のようになります。



- 6** ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 7** 2列目ヘッドレストです。
図の矢印方向に、ヘッドレストのラインに
合わせて下から上へかぶせます。



- 10** ヘッドレスト裏の生地を内へ寄せながら、
マジックテープを固定します。



- 8** 図の様にヘッドレストの角を越える際は、
角を潰すようにして乗り越えます。生地に
負荷がかかり過ぎると、破れる恐れがあり
ますので、作業は慎重に行ってください。



- 11** 1列目同様にブラックを固定します。ヘ
ッドレスト裏は図のようになります。



- 9** ヘッドレストのラインからずれないように
カバーを全体にかぶせます。



- 12** カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレ
ストの完成です。

Step 7

…> アームレストの装着方法



- 1** カバーを半分程裏返して、アームレストのラインに合わせてかぶせます。この際、アームレストの先端まで生地が張る様に、しっかりとかぶせて下さい。



- 4** 外側のカバーも全てかぶせて、生地をしっかりと寄せながらファスナーを閉じます。



- 2** アームレストの内側にカバーかぶせます。



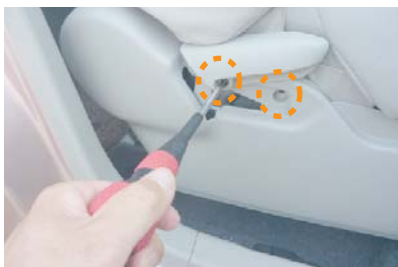
- 5** ファスナーを閉じると図の様になります。



- 3** 外側のカバーは開いた状態で、アームレストをシートに戻します。



- 6** カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。



1 始めに図の位置にあるネジを2か所外します。



4 シート背面裏から見た、外側の側面です。図の位置にツメが掛かっています。ツメを指かへらなどで押して外します。



2 リクライニングレバーの取っ手は水平にスライドさせると図の様に外れます。



5 シート前側のシート裏外側面です。図の位置にフックが掛かっているのを確認して下さい。24ページ8番の作業でこのフックの掛かりを外します。



3 シート背面の図です。図の位置にあるネジをドライバーを使用して外します。



6 プラスチックカバーは、後ろ側から外します。矢印の方向へプラスチックを少し反らせながら、後ろ側の掛かりを外します。



- 7 プラスチックカバーを前にスライドさせながら外していきます。この際取っ手を外したリクライニングレバー部で、プラスチックのフチに傷を付けないように作業は慎重に行ってください。



- ▼ 1列目



- 8 ツメの位置を意識しながら、プラスチックカバー全体を前にスライドさせます。



- ▼ 2列目



- 9 プラスチックカバーが外れました。
※図ではシートリフターのダイヤルも外していますが、プラスチックカバーを外す際には関係ありません。



- ▼ 2列目背面



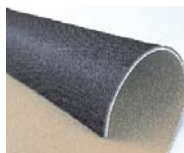
After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816